

年少児から小2生をもつ母親は、子育ての楽しさをどの程度感じているのだろうか。ここでは子育ての毎日の楽しさについて「とても楽しい」「まあまあ楽しい」「あまり楽しくない」「ぜんぜん楽しくない」の4段階でたずねた。

▶ 9割の母親が楽しいと感じている (図1-6)

毎日の子育てを「とても楽しい」と感じている人は17.5%、「まあまあ楽しい」が72.5%、「あまり楽しくない」が9.4%、「ぜんぜん楽しくない」が0.6%だった。楽しいと回答している割合が高く、「とても+まあまあ楽しい」の割合でみると9割に達している。学年別にみてもあまり差はなく、母親たちは子育てを楽しんでいると感じていた。しかし、一方で1割の母親が楽しくないと回答していることも注目される。その中でもとくに「ぜんぜん楽しくない」と回答した人は、子育てを中心にした悩みや気がかりとして、「心の悩み」や、「夫とのコミュニケーション」をあげた人が多かった。子どもの成長発達やしつけなどに関する事よりも、母親自身の精神的ストレスが子育て生活の楽しさを大きく左右することがわかった。

▶ 子育て経験豊かな第2子以降の母親のほうが育児を楽しむ傾向に

第1子の母親と第2子以降の母親で楽しさを比較してみると、「とても+まあまあ楽しい」の割合は、第1子の母親88.2%、第2

子以降の母親92.0%と第2子以降の母親のほうが3.8%高かった。子どもが2人目以降になると、子育ての要領もわかり、子育てを楽しめるゆとりが1人目より少し出てくることが表れていた。

▶ 「とても楽しい」と感じているのは常勤者の母親 (図1-7)

母親の就業状況との関連をみてみよう。専業主婦、パートタイマー、常勤者で「とても+まあまあ楽しい」の割合を比較したところ、すべてほぼ90%前後と差はなかった。ただし、「とても楽しい」の割合でみると、専業主婦、パートタイマーが16%台であるのに対し、常勤者が24.5%と7~8%高くなっている。子どもと一緒に過ごす少ない時間を楽しさを凝縮して感じている常勤者が多いことがわかる。

▶ 楽しく子育てしながら、満足するまで働いている(活動している)母親は約半数 (図1-8)

子育ての楽しさと、現在の母親自身への満足度をみてみよう。子育てが「とても楽しい」と回答した人で、母親として「とても+まあまあ満足している」人は89.0%。同じく妻としては76.2%、働く女性としては52.7%、一人の人間としては80.9%だった。子育てを「とても楽しい」と感じる人の中で、働く女性としての満足度がとくに低く、育児をしながら自分が満足するまで働く(活動する)ことのむずかしさがこの数値に表れていた。

● 図1-6 子育ての楽しさ



● 図1-7 子育ての楽しさ×母親の就業状況



● 図1-8 子育ての楽しさ(とても楽しい)×現在の自己評価

